

新辭典
類語
大辭典
新辭典





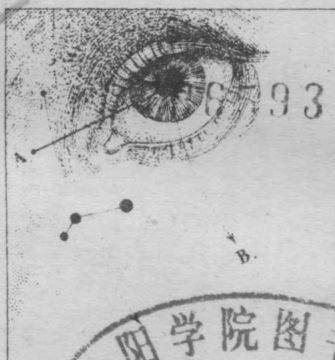
H363.2
109

14262

新類語新辭典

大野晋
浜西正人

著



贵阳学院图书馆



GYXY796593



角類語新辞典

© Suamu Ono/Masando Hamanishi 1981 Printed in Japan

発行 昭和五十六年一月三十日 第一刷発行

昭和五十七年四月十日 第九刷発行

著者 大野晋 浜西正人

造本 杉浦康平 協力 郡幸男・海保達 装画 藤辺富士雄

発行者 角川春樹

発行所 株式会社角川書店

東京都千代田区富士見二―二三―三 郵便番号 一〇〇一

電話 東京(〇三)二六五―七二―一 鎌倉口座 東京三一―九五二〇八

印刷所 横山印刷株式会社

製版所 信一印刷株式会社

製本所 株式会社鈴木製本所

書籍コード 0381-0170-0046 (〇)

定価は箱・カバー・帯に明記してあります 落丁・乱丁本はお取り替えいたします
本文の分類構成は特許出願中です

内閣府

(07)5-801 (京)0102

同義語辞典

0020000

●著者

大野 晋 早稻田大学教授

浜西正人 国文学研究家

●本文構成者

杉浦康平



角類語新辞典

角類語新辞典の編纂は、角類語の整理と、角類語の解説を目的として行われた。角類語とは、角の形状や、角の位置、角の大きさなど、角に関する語彙を指す。本辞典では、角類語の整理と、角類語の解説を目的として行われた。角類語の整理とは、角類語の整理と、角類語の解説を目的として行われた。角類語の解説とは、角類語の整理と、角類語の解説を目的として行われた。

角類語新辞典の編纂は、角類語の整理と、角類語の解説を目的として行われた。角類語の整理とは、角類語の整理と、角類語の解説を目的として行われた。角類語の解説とは、角類語の整理と、角類語の解説を目的として行われた。

角類語新辞典の編纂は、角類語の整理と、角類語の解説を目的として行われた。角類語の整理とは、角類語の整理と、角類語の解説を目的として行われた。角類語の解説とは、角類語の整理と、角類語の解説を目的として行われた。

はじめに、われわれが何を考え、何を具体化しようとしてこの辞書を編集したのかということを明らかにしておこう。

人々は個々の単語について意味を知りたいと思ひ、また正しい発音や書き方を確かめようとして辞書をひく。その辞書に、単語は発音や綴りの順序によつて配列されていて、多くの場合、その単語の前や後には意味上何の連絡もない単語が並んでいる。そこで人々は、単語はばらばらの存在で、何の脈絡もなく集まっている物体のようなものだと思ひがちである。しかし実は、単語は人々の心の中に散在しているものではない。単語の存在の仕方は、譬えてみれば女の人が頭にかぶる網のようなものである。網の目の一つ一つが個々の単語にあたる。網の目はそれ一つで存在しているのではなく、自分の隣に、いくつもの網の目を持つ。それが互いにささえ合うことによつて網全体を形づくる。そして網の目一つ一つもまた自分自身の存在を保っている。

意味の上から観て、単語のあり方はそれと同じなのである。個々の単語は独立した存在ではあるが、その近隣の、類縁性の濃い単語と相互に緊張関係を保ち、時には重なり合う領域さえ持ち、互いにささえ合つて生きて働く。例をあげてみれば、「ほのか」という語は自己の近隣に「かすか」「うすく」「ぼと」などを持つ。「ほのか」はそれらと近い間柄にあり、時には重なるようにも見える。しかし、つきつめて行くとそれらは互いに自己の意味領域を確かに持つ存在である。われわれは無自覚的にそれを知り、それを文脈の中で使い分ける。

この「意味の存在の仕方」に深い注意を払わない辞書編集法では、「平常」「日常」「通常」「普段」のような近い意味の単語に、みな共通に「あつう」といふような訳語を与えて終われりとしてしまふ。しかし、それでは、「平常運転」とはいつても、「日常運転」といわないこと、「日常茶飯のこと」とはいつても、「通常茶飯のこと」とはいつてもいえない。それを理解することはできない。そのような辞書によつては事態を厳密に認識し分け、表現においてそれを区別しようとする鋭い言語意識を養い得ない。辞書は、できる限りの確な表現を可能にさせ、また的確な表現の精密な理解を達成させるに役立つものでなければならぬ。

そこでわれわれの辞書は、単語を意味上の類縁性によつて区分し、あ

らゆる単語を十進分類法によつて整理している。これは類似の意味、関係深い意味、対照的な意味を持つ語を集團化し、人々が心の中で暗々のうちに行っている比較対照を、明確な形でなしうるうちに眼前に提示するものである。語彙の豊富な人は心の中で文章を作り、文脈の中でその単語の意味を考え、用語として適か不適かを思案する。それをこの辞書では、添えてある文例によつて明らかな形で考案できるようにした。語の意味の微かな差違は、この文例を見ることによって、おのずから感得されることであらうと思う。

また単語の中には、書く文章の中だけに使われる語(例えば「しかしながら」)がある。ところが会話にだけ使われる語(例えば「だけど」)もある。それを知ることがまた単語の理解の上で極めて重要である。そこでこの辞書には、それぞれの単語に「位相」を注記することとした。「位相」とは、今は使われない古語であるとか、文語であるとか、文章的表现に使う語であるとか、日常普通に使う語であるとか、それぞれの単語の言語社会での使われる位置をいう。それを注記することによつて、文章では記述しがい用法上の説明を補うこととしたのである。

もと、この辞書は浜西正人氏が宮々と編集に従事して来られたものである。その編集方針は、かねて種の考えて来たところと一致が大きかった。それで私は乞われるままにこの五年間、氏と協同の努力をして来た。私は分類の各項目内部の単語の配列に注意し、語義の説明について修正を加へ、「位相」を注記することを提議して、その遂行を推し進めた。こうした辞書はわが国にまだ例がないが、学習によつて語彙を豊かにしたいと思う生徒・学生、あるいは的確な語を求めようとする社会人にとって有用なはずである。これがそのような人々に役立つことを私は願っている。

ただ何事も新しい工夫が、すぐそのまま完成であるということとは難しい。本書についても、不備なところは多々あることと思う。幸いに識者のご教示を得れば、これの改良に必ず役立てたい。なお、この仕事を成就するに当つては、山田珠子・立平幾三郎・梶原昶太郎の三氏に多大の助力を得た。そのことをここに記しておきたい。

昭和五十五年九月

国語辞典といえ、五十音引き辞典というのが一般に定着しているが、ここに新しく意味分類による辞典を世に問うことにした。

従来の五十音配列辞典は、文字使用の面については有用であるが、ある事柄をどう表現したらよいかということについては無力な面があった。この辞典は、われわれが長らく不問に付してきたこの問題をまず解決しようとした。

いわゆる表現のための辞典は、観念を言語化するために、一つの概念とその意味内容を大見出しに掲げ、それに関連する語を集めて配列する必要があると考える。そのためこの辞典は類語辞典の体裁をとることにした。

類語といわれるものは、比較的意味の近いもののグループのことであるが、その限界はいまいさが常につきまとう。もし全語彙を包含した類語辞典を作るためには、語の意味分類を全語彙体系の中に位置づければならない。

言語は体系をなすものだと言ったのは、現代言語学の祖ソシュールであった。ソシュールは言語を一つの有機的な全体と見、その中ではいろいろな要素が互いに依存し合っており、語の意味は体系全体から出てくるものであるとした。すなわち、語の意味は体系全体から切り離しては存在しえないということである。何の意味的関連もなく一つ一つの語が孤立している従来の辞典に対して、この辞典は語の意味を本来のあるべき姿においてとらえようとして、各語を語の集団体系の中に位置づけたのである。

この語彙体系表は、最初から辞典を目的に作成したものではなかった。外国語習得の便法から語の意味分類を始めたのがきっかけであるが、もしこれを国語の語彙全域に及ぼすならば、語によってこの複雑な現象界が秩序づけられるばかりでなく、われわれの学習活動も効率化するに違いないと考えるようになり、本格的な分類作業に取り掛かったのである。

まず人間生活全体を自然・人間・社会・文化などに大分類した上で、十進分類方式の考え方を採用した。それによって森羅万象は整然と細分化され体系づけられたのである。この体系表が完成したときには、さながら

ら言語によって構築された一つの世界を見る思いがしたことであった。

語彙体系の作成に際して、各語がどのグループに属するかを一つ一つ厳密に検討する作業は、単語の意味を正しく規定する必要があるが、分類作業が、実は辞典作りそのものとなったのである。そしてこの語彙体系を辞典の適用に踏み切ったのであるが、各語の所屬を確認しながら語彙を進めて行く方法は、単独作業を余儀なくされる。それは長い孤独な言葉との闘いの連続であった。かつての「大言海」の奥書が述べるように、この小著を通して体験した苦難も同様なものであった。何とか挫折することなく刊行にこぎつけられたのは、ひたすら現代意味論の成果を辞典に具現化しようとする願いを持ち続けた結果に他ならない。

この辞典は高い志によって編まれた。しかし単独作業の辞典にはおのずから限界があるだろうと考えていたとき、図らずも斯界の第一人者、大野晋先生のお目に留まり、ご批判を仰ぐことができた。先生はつとに広辞苑の基礎語の語釈を手掛けられ、近くは二十年の歳月を費して古語辞典を完成されており、辞典編集には高い見識を持っておられる。その豊かな学識と鋭い言語感覚により、本文の全語彙を再度にわたりご校閲いただき手を加えられた。このことはこの辞典にとってまことに幸運だったといわねばならない。

最後にこの辞典の利用法について一言触れておきたい。この辞典の見出し語は五十音順配列でないため、索引によって目ざす語を捜さなければならぬ。これはこの辞典の特長であって、一つの語を捜し出す過程において、いろいろな語に接することが、その語の意味成立に関与しているのと見るべきものである。利用者は、一語を引いてもその周辺の語や関連した語を学ぶことができ、既成の辞典では得られないさまざまな知識を身につけることができるはずである。

この辞典は一つの試みの域を出ないが、このような形にまとまったのは、大野先生はじめ多くの方々のご助力で、先人の著作・業績を参考にさせていただいたためであり、また、これが日の目を見るに至ったのは角川書店側の積極的なご協力、なかんずく佐野正利部長の慧眼と努力によるものである。これらの方々には深く感謝の意を表する次第である。

昭和五十五年十月

凡例

① 収録範囲

この辞典には、日常生活に必要な現代語を中心に、単語のみならず複合語・連語・慣用句・ことわざ・故事成語の類を含む約六万語を収録した。

② 分類・配列

①—すべての語彙は、図書分類法に倣った十進分類法方式による「語彙分類体系表」(見返し参照)に基づき、大分類(一)桁目「各中扉および本文上段つめで表す」、中分類(二)桁目「本文下段つめで表す」、小分類(三)桁目の三桁の数字によって分類し、必要に応じてさらにa・b・cにより細分した。この分類によって、共通の意味を持つ語(類語)が一箇所に集まるようになっている。

●例 ① 自然—00 天文—002 空—002 a 広さからみた空

②—語彙の配列は「体系表」における分類番号順によった。また最小分類項目(小分類、またはa・b・c内では、おおむね一般的な意味を持つ語から掲げ、各語には配列順に番号を付した。

●例 ① 宇宙—「宇宙」—「天地」—「天地」—「天壤」

③ 見出し語

①—見出し語は「」でくくって掲げ、各語の本来の意味が理解しやすいように、和語も原則として漢字をあてた。漢字部分にはすべて振り仮名を施した。

②—「体系表」による大・中・小分類、およびa・b・cの各分類項目は、そのまま見出しの役割を果たし、語釈も簡単に施してあるが、それらの語も改めて見出し語として掲出した。

●例 ① 宇宙—すべての天体を含む空間

「宇宙」 ○「宇」は天地四方、「宙」は過去・現在・未来

③—同じ語群の中では、意味の共通性を重視し、意味が共通であるならば、他の品詞の語でも並べて掲出した。

●例 ① 「動く」「動き」「運動」「美しい」「美」「美麗」

④—意味の共通性によらずに、検索の便宜上から妥当と思われる語群中に所属させた語がある。意味の遠いものはおおむね最後に置いたが、特に区別した語には*印を付した。

●例 ① 「白雲」「黒雲」「青雲」

⑤—一語にして数義を持つ語は、それぞれの箇所に別々に出し、相互に参照すべき番号を付した。

④ 意味の解説

各見出し語の下には、それぞれの用例・語釈・位相・対意語・参照番号などの順に、簡潔な解説を施した。

①—用例としては、適切な作例をできるだけ圧縮した形で掲げ、見出し語部分は「—」で記した。

●例 ① 「勧誘」 加入を—する。—を断る。保険—員

②—用例中の一単語が他の語とも置き換えうる場合、その置き換えられる語は「」にくくって併せ掲げるようにした。また必要に応じて()を用いて、用例に対してその意味を補ったり、出典を示したりした。

●例 ① 「天体」—写真「望遠鏡」

「天外」 奇想—(着想が奇抜なこと)

「万」—の犬とぶらひ見に行く(枕草子)

③—語義は○印を付して解説した。特に隣接する語群との微妙な差異を明らかにするよう努めた。ただし分類項目の中で取り上げられている語については、多くの場合語釈を省いた。

④—見出し語に同じ読み方である別表記のある場合は(へ)を用いて適宜示した。また別の読み方などのある場合「…とも」の形で示してある。

自然⁰

09 物象	08 物質	07 生理	06 動物	05 植物	04 景觀	03 地勢	02 氣象	01 曆日	00 天文	
74	67	53	41	31	25	19	12	6	2	
090 物象	080 万物	070 生命	060 生物	050 植物	040 景色	030 地勢	020 氣象	010 季節	000 天文	0
74	67	53	41	31	25	19	12	6	2	
091 反応	081 物体	071 生死	061 動物	051 樹木	041 風土	031 陸地	021 寒暖	011 春	001 宇宙	1
75	67	54	41	32	25	19	13	7	2	
092 燃燒	082 物質	072 成育	062 魚介	052 草	042 用地	032 山	022 晴曇	012 夏	002 空	2
75	68	58	46	34	25	19	13	7	2	
093 熱	083 酸塩	073 発病	063 虫類	053 芽	043 耕地	033 平野	023 雨	013 秋	003 天体	3
76	69	60	47	37	26	21	14	7	2	
094 煮沸	084 栄養	074 生理	064 器官	054 茎	044 森林	034 海	024 雪	014 冬	004 太陽	4
77	69	62	50	38	27	21	15	7	3	
095 光	085 水	075 呼吸	065 脚尾	055 枝葉	045 庭園	035 湖沼	025 露霜	015 節氣	005 月	5
77	69	63	50	38	27	22	16	8	3	
096 音	086 空氣	076 血行	066 筋骨	056 花	046 墓地	036 川	026 雲	016 年	006 星	6
79	71	64	51	38	28	23	16	9	3	
097 波動	087 金屬	077 排出	067 内臓	057 果実	047 道路	037 泉	027 霧霞	017 月	007 地球	7
80	71	64	51	39	28	23	16	9	4	
098 力	088 鉱物	078 分泌	068 卵	058 樹皮果皮	048 海流	038 岸	028 風	018 週	008 朝夕	8
80	72	65	53	40	30	24	17	10	4	
099 電氣	089 塵埃	079 生殖	069 性	059 細胞	049 波	039 島	029 天変地異	019 日	009 昼夜	9
81	74	66	53	40	31	24	18	11	5	

1 性状

1 性状

19 程度	18 類型	17 価値	16 状態	15 時間	14 刺激	13 実質	12 数量	11 形状	10 位置	
191	185	173	163	143	132	125	110	99	84	
190 程度	180 類型	170 価値	160 状態	150 時間	140 刺激	130 実質	120 数	110 形	100 位置	0
191	185	173	163	143	132	125	110	99	84	
191 標準	181 種類	171 価格	161 調子	151 時機	141 明暗	131 構造	121 数量	111 点線	101 こそあと	1
193	185	173	166	144	132	126	111	100	84	
192 等級	182 特徴	172 良否	162 隆盛	152 時刻	142 光沢	132 疎密	122 度	112 面	102 点	2
193	186	175	166	145	133	126	114	101	86	
193 並み	183 箇条	173 適不適	163 過激	153 期間	143 色彩	133 繁簡	123 度量衡	113 角	103 内外	3
194	187	177	167	147	133	127	115	103	87	
194 限度	184 系統	174 有用	164 安危	154 常時	144 風味	134 輕重	124 年齡	114 立体	104 前後左右	4
195	187	178	167	149	136	129	117	103	90	
195 大變	185 正副	175 真偽	165 難易	155 遲速	145 匂い	135 強弱	125 有無	115 模様	105 上下	5
197	188	179	168	151	137	129	118	104	91	
196 細大	186 類例	176 正否	166 明瞭	156 先後	146 冷温	136 硬軟	126 多少	116 長短	106 入り口	6
198	188	181	169	154	138	130	119	105	92	
197 一層	187 特異	177 精粗	167 不變	157 終始	147 痛痒	137 濃淡	127 全部	117 大小	107 周辺	7
199	189	182	171	156	139	130	122	106	93	
198 大体	188 同一	178 美醜	168 氣配	158 今昔	148 喧騒	138 乾湿	128 単複	118 広狭	108 遠近	8
199	190	182	172	159	139	131	124	107	95	
199 こんな	189 相応	179 雅俗	169 地味	159 時代	149 擬声語	139 新古	129 幾ら	119 擬態語	109 方向	9
200	190	183	173	162	140	131	125	107	97	

2
變動

29 関連	28 経過	27 情勢	26 増減	25 変質	24 変形	23 出没	22 離合	21 移動	20 動揺	
262	256	247	239	234	228	220	213	205	202	
290 関係	280 経過	270 情勢	260 生成	250 変質	240 変形	230 出し入れ	220 離合	210 移動	200 運動	0
262	256	247	239	234	228	220	213	205	202	
291 独立	281 過程	271 勢い	261 残存	251 凝固	241 破壊	231 抜き差し	221 混合	211 旋回	201 動揺	1
263	256	248	240	234	229	222	213	206	202	
292 対応	282 開始	272 発生	262 増減	252 乾燥	242 伸縮	232 埋没	222 交錯	212 進退	202 震動	2
263	257	248	241	235	230	223	214	206	203	
293 本末	283 到来	273 成否	263 加除	253 濃縮	243 拡大	233 見え隠れ	223 接触	213 通過	203 傾斜	3
264	259	249	242	236	231	223	214	207	203	
294 因果	284 断続	274 興亡	264 満ち欠け	254 清濁	244 曲折	234 露出	224 付着	214 渡り	204 転倒	4
265	259	250	243	236	231	225	215	209	203	
295 影響	285 存廃	275 盛衰	265 過不足	255 美化	245 起伏	235 包囲	225 接続	215 接近	205 回転	5
266	260	251	244	237	232	226	216	209	204	
296 均衡	286 進捗	276 進歩	266 補充	256 色付き	246 角立ち	236 開閉	226 並列	216 指向	206 滑り	6
267	261	252	245	237	233	226	218	210	204	
297 適合	287 進み	277 変動	267 総括	257 腐敗	247 締まり	237 浮沈	227 集散	217 昇降	207 弾み	7
268	261	253	245	238	233	227	219	210	205	
298 類似	288 繰り上げ	278 混乱	268 包含	258 強化	248 畳み	238 浸透	228 堆積	218 飛翔	208 翻り	8
269	262	255	246	238	233	227	219	212	205	
299 勝り	289 短縮	279 緊張	269 限定	259 散乱	249 巻き	239 注ぎ	229 下垂	219 流動	209 浮動	9
269	262	256	247	239	234	228	220	212	205	

3 行動

3 行動

39 生産	38 操作	37 授受	36 労役	35 寝食	34 陳述	33 見聞	32 表情	31 往来	30 動作	
350	342	333	324	314	305	294	286	277	272	
390 生産	380 操作	370 授受	360 行為	350 生活	340 発言	330 見聞	320 表情	310 道筋	300 動作	0
350	342	333	324	314	305	294	286	277	272	
391 製造	381 使用	371 需給	361 実行	351 居住	341 沈黙	331 目撃	321 笑い	311 往復	301 全身動作	1
350	343	335	325	314	307	294	287	278	272	
392 修繕	382 処置	372 徴収	362 成敗	352 在宅	342 進言	332 聴取	322 泣き	312 去来	302 立ち居	2
352	344	335	326	315	307	297	288	280	272	
393 装飾	383 設置	373 取捨	363 労働	353 寝起き	343 談話	333 提示	323 目の動き	313 出入り	303 俯仰	3
352	345	335	327	316	308	298	289	281	273	
394 建造	384 包装	374 貸借	364 従業	354 食事	344 相談	334 合図	324 声	314 発着	304 横臥	4
353	346	337	328	317	309	299	290	282	274	
395 土木	385 積載	375 預け	365 休業	355 炊事	345 議論	335 表現	325 感嘆	315 乗降	305 手の動作	5
354	346	338	329	319	310	300	291	283	274	
396 耕作	386 運搬	376 交換	366 営業	356 装い	346 問答	336 描写	326 身震い	316 運行	306 足の動作	6
354	346	339	330	321	311	300	291	284	275	
397 牧畜	387 押し	377 集配	367 仕事	357 美容	347 説明	337 署名	327 狼狽	317 逃亡	307 歩行	7
355	348	339	330	322	312	301	292	284	276	
398 狩猟	388 突き	378 選択	368 職業	358 掃除	348 演説	338 読み	328 気取り	318 巡回	308 疾走	8
356	348	340	331	323	313	301	292	285	276	
399 採取	389 打撃	379 所有	369 産業	359 裁縫	349 主張	339 書き	329 凄み	319 滞在	309 口の動作	9
356	349	341	332	323	313	303	293	286	277	

4

心情

49 悲喜	48 愛憎	47 榮辱	46 鬭爭	45 誘導	44 要求	43 意向	42 學習	41 思考	40 感覺	
437	430	422	414	405	396	385	376	363	358	
490 感情	480 人情	470 褒貶	460 鬭爭	450 勸誘	440 要求	430 意	420 學習	410 心	400 感じ	0
437	430	422	414	405	396	385	376	363	358	
491 感動	481 愛憎	471 賞罰	461 紛爭	451 獎勵	441 頼み	431 欲望	421 練習	411 思考	401 意識	1
437	431	423	415	406	397	386	377	363	359	
492 苦樂	482 戀愛	472 叱責	462 競爭	452 命令	442 諾否	432 願望	422 模倣	412 判斷	402 狂氣	2
438	431	423	416	407	398	387	378	367	359	
493 悲喜	483 思慕	473 非難	463 勝敗	453 束縛	443 許否	433 注意	423 記憶	413 認識	403 酔い	3
440	432	424	417	407	399	388	379	369	360	
494 安心	484 好惡	474 尊敬	464 攻防	454 誘導	444 認否	434 用意	424 研究	414 比較	404 睡眠	4
440	432	425	418	408	400	389	380	371	360	
495 滿足	485 威嚇	475 尊重	465 討伐	455 指導	445 贊否	435 決意	425 調查	415 識別	405 疲勞	5
441	433	426	419	409	400	390	380	372	361	
496 焦慮	486 同情	476 感謝	466 征服	456 欺騙	446 協力	436 奮起	426 搜索	416 信疑	406 飢渴	6
442	434	427	419	411	400	391	381	372	362	
497 恐怖	487 恩惠	477 榮辱	467 叛服	457 妨害	447 交涉	437 執着	427 試驗	417 過誤	407 味見	7
443	434	428	420	411	401	393	382	373	362	
498 怒り	488 親近	478 自尊	468 復讐	458 救助	448 約束	438 勤怠	428 計算	418 証明	408 痛み	8
443	435	429	421	412	402	394	383	374	362	
499 驚き	489 待遇	479 驕り	469 侵害	459 保護	449 權利	439 忍耐	429 出題	419 立案	409 煙囪	9
444	436	429	421	414	403	395	385	375	362	

5
人物

59 神仏 498	58 人物 490	57 的ビサ ス 職業 483	56 的生 産 職業 481	55 役割 476	54 地位 469	53 仲間 463	52 親族 456	51 老若 452	50 人稱 448	
590 神仏 498	580 偉人 490	570 役人 483	560 業者 481	550 創始者 476	540 君臣 469	530 仲間 463	520 家族 456	510 老若 452	500 人稱 448	0
591 天帝 499	581 賢者 491	571 軍人 484	561 作業員 481	551 首脳 476	541 主従 470	531 成員 464	521 夫婦 456	511 男女 452	501 自称 448	1
592 化身 500	582 第一人者 492	572 教育者 485	562 職人 481	552 担当者 476	542 首長 471	532 相手 464	522 父母 458	512 幼児 453	502 対称 448	2
593 天使 500	583 勇者 493	573 文筆家 485	563 運送人 482	553 当事者 477	543 治者 472	533 友人 465	523 子 459	513 少年 454	503 他称 449	3
594 仙人 500	584 働き者 494	574 芸術家 486	564 乗務員 482	554 使者 478	544 目上目下 472	534 恋人 466	524 孫 460	514 青年 454	504 不定称 449	4
595 靈魂 500	585 趣味人 494	575 俳優 486	565 商人 482	555 所有者 478	545 師弟 473	535 主客 466	525 兄弟 461	515 成人 455	505 自他 450	5
596 魔物 500	586 変人 495	576 僧俗 487	566 農民 483	556 仕手 479	546 将卒 473	536 住民 467	526 祖父母 461	516 老人 455	506 公私 450	6
597 鬼 501	587 善人 496	577 医者 488	567 牛飼 483	557 筆者読者 479	547 貴賤 474	537 民衆 468	527 先祖 461	517 障害者 455	507 人 451	7
598 化け物 501	588 賊 497	578 事務員 489	568 獵師 483	558 役者 480	548 貧富 475	538 国民 468	528 親族 462	518 病人 456	508 接尾辞 451	8
599 憑き物 501	589 罪人 498	579 使用人 489	569 樵 483	559 選手 480	549 労資 475	539 民族 469	529 伯父伯母 462	519 死人 456	509 接辞 451	9

6
性向

69 心境	68 境遇	67 才能	66 性格	65 人対 態度	64 態度	63 身振り	62 姿態	61 容貌	60 体格	
573	565	556	549	542	534	525	520	514	504	
690 気持ち	680 境遇	670 力	660 性格	650 人当たり	640 態度	630 身振り	620 姿態	610 顔	600 身体	0
573	565	556	549	542	534	525	520	514	504	
691 愉快	681 身上	671 能力	661 習性	651 有縁	641 熱心	631 機敏	621 裸	611 容貌	601 胴体	1
573	565	557	550	543	534	526	521	515	505	
692 上機嫌	682 地位	672 知恵	662 温和	652 親疎	642 積極的	632 乱暴	622 上品	612 頭	602 手足	2
574	566	559	551	543	535	527	521	516	505	
693 安楽	683 貴賤	673 賢愚	663 善良	653 愛想	643 執拗	633 平靜	623 威厳	613 目	603 乳房	3
575	567	559	551	544	537	528	522	516	507	
694 安心	684 貧富	674 敏感	664 無欲	654 親切	644 人念	634 茫然	624 美麗	614 鼻	604 皮膚	4
576	568	560	553	545	538	528	522	517	507	
695 無気味	685 運命	675 学識	665 強情	655 寛厳	645 慎重	635 足取り	625 男性的	615 耳	605 体毛	5
577	568	561	553	545	539	530	523	518	508	
696 満足	686 禍福	676 趣味	666 剛健	656 高慢	646 悠長	636 話し振り	626 魅惑的	616 毛髪	606 体格	6
578	569	562	554	546	539	530	524	518	508	
697 優越感	687 安否	677 技量	667 気長	657 丁重	647 真面目	637 笑い方	627 可愛げ	617 ほくろ	607 健康	7
579	570	562	555	547	540	532	524	519	509	
698 好き嫌い	688 災難	678 巧拙	668 陽気	658 公平	648 勇敢	638 目付き	628 滑稽	618 口	608 病気	8
580	571	563	555	548	541	533	524	519	510	
699 痛切	689 繁忙	679 業績	669 好色	659 公然	649 贅沢	639 食べ振り	629 若気	619 歯	609 不全	9
581	572	564	556	548	542	533	525	520	514	

7
社会

79 人倫	78 社交	77 处世	76 習俗	75 報道	74 取引	73 統治	72 施設	71 集團	70 地域	
654	647	641	634	627	615	607	599	591	584	
790 間柄	780 交際	770 处世	760 習俗	750 報道	740 經濟	730 支配	720 施設	710 群集	700 範圍	0
654	647	641	634	627	615	607	599	591	584	
791 人道	781 出合い	771 經歷	761 流行	751 伝達	741 取引	731 統治	721 役所	711 集会	701 跡形	1
654	648	641	636	628	616	608	600	592	585	
792 道德	782 招致	772 籍	762 伝承	752 発表	742 売買	732 治乱	722 学校	712 加入	702 場所	2
655	649	641	636	629	616	609	601	593	585	
793 節操	783 同伴	773 相続	763 文化	753 流布	743 騰落	733 機關	723 公共施設	713 団体	703 土地	3
655	650	642	636	629	618	610	601	594	586	
794 恩義	784 送迎	774 結婚	764 儀式	754 評判	744 損得	734 掟	724 仕事場	714 軍隊	704 領土	4
656	651	642	636	630	619	611	602	595	587	
795 奉仕	785 出欠	775 学事	765 慶弔	755 音信	745 収支	735 犯罪	725 駅港	715 党派	705 都道府県	5
656	651	643	638	631	620	612	603	596	588	
796 信頼	786 訪問	776 出処進退	766 参拝	756 通信	746 費用	736 検査	726 城塞	716 界	706 都会	6
657	651	644	639	632	622	613	603	596	588	
797 善惡	787 応対	777 任免	767 宗教	757 編集	747 貨財	737 訴訟	727 社寺	717 家庭	707 村落	7
657	652	645	640	632	623	614	604	597	589	
798 罪惡	788 仲介	778 推挙	768 信仰	758 印刷	748 賃金	738 裁判	728 住居	718 社会	708 郷里	8
657	652	646	640	633	625	614	605	597	590	
799 姦淫	789 挨拶	779 榮達	769 行事	759 出版	749 税	739 刑罰	729 店舗	719 国家	709 世界	9
658	653	646	641	633	627	614	606	598	590	